



第35回 安全対策連絡協議会

2016年7月14日

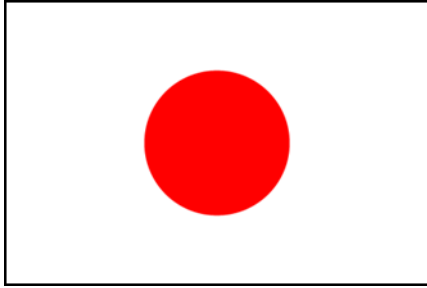
# 治安/テロ情勢 等について

在ハバロフスク総領事館



# 内 容

1. 一般犯罪情勢
2. ロシアのテロ情勢
3. 邦人援護/緊急事態



# 1. 一般犯罪情勢



# 一般犯罪情勢

## 犯罪統計の比較

※ 前年比は概数を記載。

表1	2015年		2014年	2013年
	総数	前年比	総数	総数
ハバロフスク地方	30,946	4%	29,598	28,465
ザバイカル地方	33,373	4%	32,150	35,001
イルクーツク州	53,552	1%	53,162	57,098
アムール州	19,475	11%	17,254	16,909
ユダヤ自治州	3,624	4%	3,465	3,198
サハ共和国	11,846	10%	10,715	10,825
ブリヤート共和国	27,797	12%	24,592	23,765

# 一般犯罪情勢(続き)

## (1) 対前年(2014)比

当館管轄地域は全て僅かに増加傾向

ブリヤート共和国, サハ共和国

アムール州



**10%以上の増加**



# 一般犯罪情勢

## (2) 犯罪の傾向

- 持凶器強盗(路上・屋内)
- ひったくり等(スマートフォン)
- 侵入窃盗
- 知人・親族間での飲酒に伴う殺人事件など
- 薬物犯罪(大麻, ヘロイン, 合成麻薬など)



→ **深刻化**

# 一般犯罪情勢(続き)

## 犯罪統計の比較 (2015年)

※ パーセンテージは対2014年比を示す。

表2	殺人		持凶器強盗		ひったくり等		窃盗		強姦	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
ハバロフスク地方	199	5%	152	4%	1100	-8%	13884	5%	131	126%
アムール州	127	-3%	126	-2%	611	-7%	8970	15%	32	-9%
イルクーツク州	369	-10%	330	-21%	2157	-27%	23420	-2%	55	-26%
サハ共和国	128	-10%	48	-26%	372	-8%	3986	5%	54	-24%
ザバイカル地方	226	-22%	213	-11%	948	-18%	15971	7%	89	-4%
ブリヤート共和国	220	13%	149	64%	810	-4%	12127	16%	50	47%
ユダヤ自治州	23	15%	18	29%	111	-13%	1612	11%	7	-42%

# 一般犯罪情勢(続き)

## ○数字の比較(2015年の統計結果)

- ・ ハバロフスク地方                      人口133万人
- ・ 青森県                                      人口138万人

## ○犯罪総数(認知件数)

- ・ ハバロフスク地方                      30,946件
- ・ 青森県                                      5,486件

※ 青森県の約5.6倍



# 罪種ごとの比較

## ○殺人(2015年)

- ・ハバロフスク地方 199件
- ・青森県 4件

## 参考

- ・埼玉県(人口715万) 57件

※ 青森県の約50倍, 埼玉県の約3.5倍

## ○強盗(2015年)

・ハバロフスク地方	152件
・青森県	6件
・埼玉県	214件

※ 青森県の約25倍

## ○ひったくり(2015年)

・ハバロフスク地方	1100件
・青森県	1件
・埼玉県	301件

※ 青森県の1100倍, 埼玉県の3.7倍

## ○ 強姦(2015年)

- ・ハバロフスク地方 131件
- ・青森県 12件
- ・埼玉県 72件

※ 青森県の約10倍, 埼玉県の1.8倍

## ○ 窃盗(侵入盗,自動車盗)(2015年)

- ・ハバロフスク地方 13,884件
- ・青森県 514件
- ・埼玉県 6,307件

※ 青森県の27倍, 埼玉県の約2倍

# ○ 交通事故(2015年)

## ● 交通事故総数

・ハバロフスク地方	1,857件
・青森県	3,854件
・埼玉県	36,111件

## ● 死者数

・ハバロフスク地方	196人
・青森県	40人
・埼玉県	177人

※ 青森県の4.9倍

# 一般犯罪情勢(続き)

## (3) ハバロフスク市(2015年)

- 殺人事件 6.3%減
- ひったくり 10.1%減
- 侵入窃盗 10.8%減
- ATM窃盗 30.9%減
- 自動車盗 23.0%減
- 死亡交通事故 4.0%減

## 日本人が被害に遭った例

- 昨年9月、観光のためイルクーツクを訪れていた日本人女性が混雑したバスの車内で、背負っていたリュックサックの中から旅券が入った財布を盗まれました。

○ 参考(具体的な事件の例, 今年5月発生)

コムサモーリスク・ナ・アムーレ市発生

概要

4人組の男が, 住民が**アパートの出入口から出てくるところを狙い**, 強盗を行っていた。

犯人は, 事前に数日間被害者を監視し, 出勤時間, 通勤経路等を把握していた。

また, 犯人は**外国人**を標的にしていた。

# まとめ

※ ロシア連邦内では比較的に安全とされるハバロフスク地方も日本と比較すると犯罪・事故とも発生件数は格段に多い。

日頃からの警戒が必要です！





## 2. ロシアのテロ情勢



# テロ情勢(続き)

## 《近年発生の主なテロ事件》

- ・ 2013年10月 ヴォルゴグラード  
路線バスでの自爆テロにより7人が死亡。
- ・ 2013年12月 ヴォルゴグラード  
駅舎での自爆テロにより18人が死亡。
- ・ 2013年12月 ヴォルゴグラード(上記事件の翌日)  
路線バスでの自爆テロにより16人が死亡。
- ・ 2014年10月 グロズヌイ(チェチェン共和国)  
劇場の入口で自爆テロが発生し、警察官5人が死亡。
- ・ 2014年12月 グロズヌイ  
武装勢力と治安部隊との交戦の結果、警察官14人が死亡。



## 《テロ事件と当局による掃討作戦(2015.03)》

- ・ ダゲスタン共和国 6件(うち掃討作戦2件)
- ・ チェチェン共和国 1件(掃討作戦)

# テロ情勢（続き）



## 《今後の注目点》

～シリア武装勢力参加者の動向～

ロシア北コーカサス地方で活動するテロ組織「コーカサス首長国」の指導者ケベコフは、シリアで活動する傘下組織の戦闘員に対し、

『故郷であるコーカサスでの戦闘を優先すべき！』

との呼び掛けが影響する可能性あり。

**→ ロシア出身のシリア帰還兵が帰国した際の新たなテロが懸念！**

# 当地周辺のテロ情勢

- 警察によると、現在具体的なテロの危険性は低い。

しかし・・・

- 昨年、ハバロフスク出身の「イマーム」がシリアでイスラム国戦闘員になり殺害される。
- ユダヤ自治州ビロビジャン出身の21歳の男性がイスラム国戦闘員となり、戦闘に参加。その後帰国し、起訴された。(今年2月)

- 2013年から2年間ハバロフスク在住の29歳の男が、複数のハバロフスク住民に対し、シリアでのテロ活動に参加するよう勧誘していた。男はその後逮捕された。

※ 直接的なテロ事件は発生していないものの、

テロ関連事件が発生しており、**油断は出来ない。**

# テロの特徴

- ・人が大勢いる場所や時間を狙う

## ○場所(例)

駅, 空港, 観光地, 市場, レストラン  
宗教施設, イベント会場

## ○時間(例)

朝夕のラッシュ時, 週末の夜  
イベント開催時間帯

# 被害を受けないための事前対策

- ・危ない国，場所，時間帯を避ける。
- ・用心を怠らない。目立たない。
- ・周囲の不審者・不審物に注意を払う。
- ・万ーに備える

（旅行中の連絡先や日程を家族等に伝える）

# テロが発生した場合の対処法

- ・爆発音を聞いたら

その場に伏せる。机など頑丈な場所の下にもぐり込む。

- ・事件現場に居合わせたら

テロ現場に近づかない。(二次的被害を被る可能性があるため)

- ・建物等の下敷きになったら

体力の温存を心掛ける。有害物質を吸い込まない。パイプ等を叩き居場所を伝える。



参考：テロが発生した場合の対処法  
(米国土安全保障省の指針)

- 逃げる (RUN)
- 隠れる (HIDE)



## 逃げる(RUN)

- 事件に気づいたら**迷わずすぐに逃げる。**
- **周囲の人が何と言おうと逃げる。**
- 荷物はすべて置いて行く。
- エレベーターは使わない。
- 可能なら他の人が逃げるのを手助けする。

# 逃げる

- 事情を知らない人が現場に入ろうとしていたら止める。
- 常に周囲の状況を把握し、逃げる方法を考えておく。
- できるだけ早く犯人から離れる。
- 安全が確認できた時点で警察に通報。

## 隠れる(HIDE)

- もし逃げることができなかつたら、隠れる場所を探す(常に考えておく。)
- 静かに、そして素早く行動する。
- ライトを消し、ドアに鍵をかける。ドアや窓の前から離れる。
- 携帯電話をサイレントモードにする。
- 犯人が入れないようにバリケードを築く。

# 隠れる

- (安全な場所がない場合)犯人から見えない場所に隠れる。
- 物音を絶対に立てないようにする。
- クローゼットなど安全な場所がない場合は、視界を遮る物の後ろに隠れる。

# 一般犯罪情勢/テロ情勢(共通)

《外務省ホームページ》

海外安全HP: <http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(携帯版): <http://www.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>

→ 「国・地域別の渡航情報」、

→ 「安全対策基礎データ(ロシア)」



**最後に一言!**

**日本人への危険性は常に存在する…。**

**→ まずは、(渡航前に)十分な情報収集を!**

**パニックに陥らず、落ち着いた行動を!**



### 3. 邦人援護/緊急事態



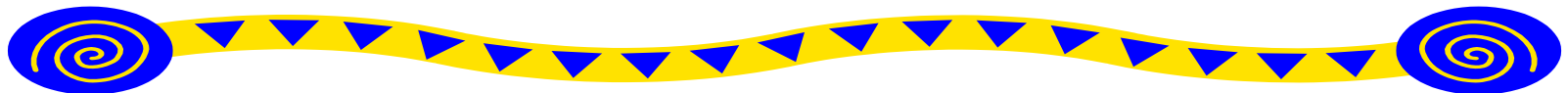
# 邦人援護/緊急事態(続き)

## (1) 2015年中の邦人援護事案

その大半が、**出入国関係!**  
次いで傷病人、困窮邦人など

## (2) 安全上のお知らせ(一斉メール送信)

**合計 8件** (2015.05~2016.06)





# 邦人援護/緊急事態(続き)

## (3) 緊急事態への備え

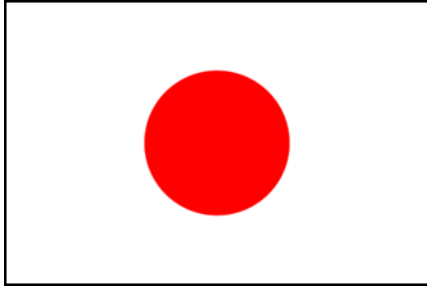
- ・ 一斉送信メール又は当館ウェブサイト
- ・ 個別電話連絡
- ・ FM放送による緊急連絡(周波数:87.50Hz)



## 双方向連絡の励行

《退避の際の集合場所は？》

総領事館 or 公邸



ご静聴ありがとうございました！

